

令和 7 年度前期定期監査等の結果について

地方自治法第 199 条の規定により令和 7 年度前期定期監査等を実施したので、同条第 9 項及び朝来市監査基準第 24 条の規定により監査の結果を公表する。

令和 8 年 1 月 14 日

朝来市監査委員 清 田 牧 男
同 横 尾 正 信

- 1 監査対象部局
都市整備部 建設課、都市政策課、地籍調査課
上下水道部 上下水道課
出納 会計課
議会事務局
教育委員会事務局 学校教育課、文化財課、学校給食センター
- 2 監査事項
市の財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行に関する事項
- 3 監査の期間
令和 7 年 10 月 10 日から同年 12 月 18 日まで
- 4 監査の結果
別紙監査結果報告書のとおり
- 5 問合せ先
朝来市和田山町東谷 213 番地 1（朝来市役所本庁舎本館 4 階） 行政委員会事務局
電話 079-672-3302

朝 監 第 2 8 号
令和 7 年 12 月 25 日

朝来市長 藤 岡 勇 様

朝来市監査委員 清 田 牧 男
同 横 尾 正 信

令和 7 年度前期定期監査等結果報告書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条の規定による監査を実施したので、その結果に関する報告を提出します。

令和 7 年度

前期定期監査等結果報告書

朝来市監査委員

目 次

第 1	監査の種類	1
第 2	朝来市監査基準への準拠	1
第 3	監査の対象	1
第 4	監査の着眼点	1
第 5	監査の主な実施内容	1
第 6	監査の実施場所及び日程	2
第 7	監査の結果	2

第 1 監査の種類

地方自治法第 199 条の規定に基づく監査

第 2 朝来市監査基準への準拠

令和 7 年度前期定期監査等は、朝来市監査基準に準拠して実施した。

第 3 監査の対象

都市整備部 建設課、都市政策課、地籍調査課

上下水道部 上下水道課

出納 会計課

議会事務局

教育委員会事務局 学校教育課、文化財課、学校給食センター

第 4 監査の着眼点

今回の監査は、市の財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行に関して、以下の事項に主眼をおいて実施した。

1 共通事項

- (1) 事務は関係法令等に基づいて適正に行われているか。
- (2) 過去の指摘事項や監査意見に対する取組、改善がなされているか。

2 財務事務に関すること

- (1) 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- (2) 契約の方法及び手続等は適切であるか。
- (3) 委託業務や補助事業等の履行確認は適切に行われているか。
- (4) 現金、郵券等の保管及び取扱いは適切か。
- (5) 財産の管理・点検体制は確立され、有効に機能しているか。

3 一般行政事務の執行に関すること

- (1) 事業は住民の福祉の増進に役立っているか。
- (2) 事業は経済性、効率性、有効性を十分考慮されているか。
- (3) 職員の勤務状況は適正か。
- (4) 業務の改善と効率化を図り、合理化に努めているか。

第 5 監査の主な実施内容

令和 7 年 4 月 1 日から同年 9 月 30 日までを対象期間とし、監査対象部局から提出された監査資料及び帳簿類の点検、契約関係書類の点検、現金及び物品の管理状況の点検、関連団体等の会計事務の引き受け状況の確認等を行った。

また、監査対象部局と面談を実施し、事業の進捗やその経済性、効率性、有効性、現在認識している課題とその対応策について聴取した。

なお、本報告書提出に先立ち、朝来市監査基準第 20 条に定める講評を実施している。

第6 監査の実施場所及び日程

- 1 実施場所 行政委員会事務局執務室ほか
- 2 実施日程 令和7年10月10日から同年12月18日まで

第7 監査の結果

1 総括

財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行について監査した結果、各課所管の事務事業は、概ね適正に執行・管理されていると認めた。なお、改善・検討を要すると認められた事項については、以下に意見を付してその状況を記載する。

(1) 職員の勤怠管理について

庶務管理システムにより、職員の勤怠管理がシステム化され、事務の効率化及び適正化が図られている。しかしながら、その運用方法は部局によって相違しており、週休日の振替等の申請や出張時の出勤・退勤時間の取扱いなど、適切に処理ができていない事例が散見された。

各部局においては、運用マニュアルを再度確認のうえ処理するとともに、主管課である総務課については、引き続き運用方法の周知徹底を図られたい。

また、時間外勤務の多い職員や年休取得の少ない職員が認められたことから、業務内容の見直しや適正な人員配置を行うなど、働きやすい職場環境づくりに努められたい。

(2) 物品の管理について

備品台帳により物品の管理状況を点検した結果、台帳の記載誤りや登録漏れ、備品管理シール未貼付等の不備事例が見受けられた。また、物品管理に対する取組みや前回監査の指摘事項に対する措置状況については、部局によって格差が見られた。

各部局においては、備品管理マニュアルを再度確認のうえ対応するとともに、主管課である財務課については、引き続き管理方法の周知徹底を図られたい。

2 部局別事業実施状況及び監査意見

監査対象部局の事務分掌、主要事務事業の実施状況、監査結果に関する意見は次のとおりである。

なお、本文中の金額は千円単位で表記している。また、主要事務事業の実施状況、予算現額、支出済額は、令和7年9月30日現在の状況を記載している。

(1) 建設課

ア 事務分掌

主に道路整備計画、市道認定・変更・廃止、道路占用・通行制限、法定外公共物管理、道路・橋梁の新設・改良、河川改修、道路・橋梁河川維持管理、道路修繕・舗装、交通安全施設改良整備事業、除雪、国県道事業に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 道路橋梁新設改良事業

[予算現額 376,500 千円 支出済額 20,699 千円 予算執行率 5.5%]

市道の道路改良と橋梁長寿命化計画に基づき、円滑な道路交通と安全を確保し、事故防止を図るとともに市民の安全と公共の福祉に資することを目的とし、緊急車両等にも対応するため市道を拡幅・整備する事業に取り組んでいる。

ウ 監査意見

特になし

(2) 都市政策課

ア 事務分掌

主に都市計画総合調整、新・省エネルギー、住宅施策、市営住宅管理、景観形成、公園、空家等対策、交通政策、無人駅管理に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① デマンド型乗合交通運行事業

[予算現額 128,605 千円 支出済額 45,595 千円 予算執行率 35.5%]

市内公共交通の利便性の向上と持続可能な公共交通体系の構築を目指しながら、市の活性化に繋げるため、「アコバス」に代わる新たな移動手段として「デマンド型乗合交通(あさ GO)」の導入と定着化に向けた事業に取り組んでいる。

② 都市計画総務一般管理事業

[予算現額 99,692 千円 支出済額 3,725 千円 予算執行率 3.7%]

計画的な土地利用を誘導し、都市機能や賑わいの再生、秩序ある土地利用及び安全・快適に暮らし続けられるまちづくりを推進するため、都市計画マスタープランに基づく都市づくりの推進や、都市計画審議会の開催、建築及び開発等に関する各種相談などの事業に取り組んでいる。

③ 空家等対策事業

[予算現額 9,648 千円 支出済額 576 千円 予算執行率 6.0%]

空家等の発生予防、適切な管理及び有効活用に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、安全で安心な生活環境の保全等を図るため、市空家等対策審議会の開催や、市不良住宅等除却支援事業、市破損空家等除却支援事業に取り組んでいる。

④ 市営住宅整備事業

[予算現額 227,017 千円 支出済額 73,400 千円 予算執行率 32.3%]

朝来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存の市営住宅ストックを有効に活用し、需給バランスに配慮しながら適切な住居を確保し提供するため、市営住宅のストック再編、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ることを目的として、既存市営住宅の改善工事等の事業に取り組んでいる。

ウ 監査意見

デマンド型乗合交通については、令和 7 年 10 月から市内全域において本格運行となり利用状況は好調であるが、運行エリアや曜日、時間帯によっては希望通りの予約が取りづらい状況もあるなど、課題もある。

運行方法の見直しや運用体制の最適化を図り、市民が更に利用しやすい交通手段となるよう取り組まれない。

(3) 地籍調査課

ア 事務分掌

主に地籍調査業務、地籍図・地籍簿の管理補修、地籍調査に関する登記を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 県営地籍調査事業

[予算現額 271,150 千円 支出済額 33,520 千円 予算執行率 12.4%]

国土の開発及び保全並びに高度化に資するとともに、地籍の明確化を目的として、地籍調査事業に取り組んでいる。当年度の県営事業は調査面積 17.11 km²（換算面積 7.09 km²）の調査を実施している。

② 市営地籍調査事業

[予算現額 31,050 千円 支出済額 3,668 千円 予算執行率 11.8%]

国土の開発及び保全並びに高度化に資するとともに、地籍の明確化を目的として、地籍調査事業に取り組んでいる。当年度の市営事業は調査面積 1.56 km²（換算面積 0.60 km²）の調査を実施している。

ウ 監査意見

特になし

(4) 上下水道課

ア 事務分掌

主に水道事業、工業用水道事業、ダムの維持管理、下水道事業、し尿の処理を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① コミュニティ・プラント整備事業

[予算現額 50,405 千円 支出済額 1,199 千円 予算執行率 2.4%]

文化的で衛生的な住みよい生活環境を実現及び持続するため、老朽化したコミュニティ・プラント施設の更新を行い、施設の長寿命化に取り組んでいる。

② し尿処理施設整備事業

[予算現額 27,000 千円 支出済額 2,406 千円 予算執行率 8.9%]

文化的で衛生的な住みよい生活環境を実現及び持続するため、クリーンセンター和田山事業所の施設整備、機器等の点検整備に取り組んでいる。

③ 水道事業

[予算現額1,236,639千円 支出済額268,159千円 予算執行率21.7%]

安全でおいしい水を安定的に供給するため、水道事業に係る経営管理、水道施設・設備の維持管理を行っている。加えて、配水管布設替等、水道施設・設備の建設改良事業にも取り組んでいる。

④ 工業用水道事業

[予算現額 22,412 千円 支出済額 1,962 千円 予算執行率 8.8%]

工業団地の企業に対して、安定した工業用水道を供給するため、水道施設・設備の維持管理等を行っている。

⑤ 下水道事業

[予算現額1,917,639千円 支出済額388,639千円 予算執行率 20.3%]

文化的で衛生的な住みよい生活環境を実現及び持続するため、市内の下水道処理施設の維持管理、施設・設備の建設改良事業等を行っている。

ウ 監査意見

料金徴収事務等の業務を外部委託することにより、事務の効率化・収納確保が図られ、収入未済額の減少など着実に成果が得られている。引き続き、料金未納の発生防止及び未収金の収納対策等による滞納額の縮減に努められたい。

(5) 会計課

ア 事務分掌

主に現金・有価証券・担保物の出納及び保管、調定及び収入の確定、支出命令審査・支出負担行為確認、決算調製等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 会計一般管理事業

[予算現額 12,868 千円 支出済額 2,039 千円 予算執行率 15.8%]

第3次総合計画に基づき効率的な行財政運営を図るため、地方自治法等の関係法令に基づく公金管理に関する事務、公金の収納及び支出の適正な執行管理を行っている。

ウ 監査意見

特になし

(6) 議会事務局

ア 事務分掌

議会運営に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 議会運営事業

[予算現額 138,348 千円 支出済額 71,421 千円 予算執行率 51.6%]

市議会本会議、各種委員会の開催、会議録の調製、ホームページや会議録検索システムを通じて市民への情報公開を進め、より市民に身近な市議会を目指すとともに、議会活動の活性化に取り組んでいる。

ウ 監査意見

特になし

(7) 学校教育課

ア 事務分掌

主に教育委員会会議、学校施設やICT環境の整備、学童クラブの運営管理、学校事務指導・調整、教育に関する企画・立案・総合調整等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 適応指導教室事業

[予算現額 7,392 千円 支出済額 3,320 千円 予算執行率 44.9%]

学校生活への適応が困難になり、長期にわたって学校を欠席している児童生徒に対し、個に応じた指導及び支援を組織的かつ計画的に行い、社会的自立を目指すため、適応指導教室(すまいるルーム)の運営に取り組んでいる。

② スクール・サポート・スタッフ配置事業

[予算現額 8,207 千円 支出済額 3,017 千円 予算執行率 36.8%]

教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、全ての市立小・中学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、学習プリントや家庭への連絡資料の印刷、配布準備等や、教室内の換気、消毒等の感染症対策に取り組んでいる。

③ 小学校特色ある学校づくり事業

[予算現額 1,939 千円 支出済額 505 千円 予算執行率 26.1%]

児童が地域の「歴史」「文化」「人」「産業」に目を向けることにより、「ふるさと愛の醸成」を図るため、各学校において、有識者の指導による伝統文化学習や体験学習等の実践事業に取り組んでいる。

④ 中学校特色ある学校づくり事業

[予算現額 776 千円 支出済額 131 千円 予算執行率 16.8%]

生徒が地域の「歴史」「文化」「人」「産業」に目を向けることにより、「ふるさと愛の醸成」を図るため、各学校において、有識者の指導による伝統文化学習や体験学習等の実践事業に取り組んでいる。

ウ 監査意見

特になし

(8) 文化財課

ア 事務分掌

主に文化財の保護・保存・活用、埋蔵文化財発掘調査、出土品の整理・展示、天然記念物の保護・管理等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 天然記念物保護活用事業

[予算現額 267,840 千円 支出済額 74,918 千円 予算執行率 28.0%]

市は多くの天然記念物(生物・樹木)が生息する豊かな自然環境を有しており、それらを適切に保全し、市内外に向け PR することで、住民の誇りの醸成と地域活性化に寄与するため、天然記念物の保護業務に取り組んでいる。

② 竹田城跡保存整備事業

[予算現額 35,288 千円 支出済額 218 千円 予算執行率 0.6%]

竹田城跡を適切に活用するため、安全な見学環境の整備を図り、本

質的価値を将来にわたって守り次世代に継承していき地域に対する誇りや愛着を育むことを目的とし、専門家や市民の代表等で構成する委員会のなかで、適切な調査、保護の在り方について検討を行い、保護整備事業に取り組んでいる。

ウ 監査意見

全体的に時間外勤務が多く、突出している職員も認められた。業務内容の見直しや適正な人員配置について調整を行うなど、働きやすい職場環境づくりに努められたい。

(9) 学校給食センター

ア 事務分掌

学校給食業務、献立等給食内容、給食費徴収、学校給食センター施設の維持管理等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 給食センター運営管理事業

[予算現額 275,869 千円 支出済額 119,941 千円 予算執行率 43.5%]

児童及び生徒の健全な心身の発達と食に関する正しい知識の習得のため、学校給食の調理・提供、学校給食センター施設の維持管理等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

学校給食費の過年度滞納分について、引き続き滞納額の縮減に向けて努められたい。